

コロナ禍により必要な受診を控えていませんか？

新型コロナウイルス感染症への感染の心配から、医療機関への受診を控える傾向が続いています。過度な受診控えは、治療の遅れや病気の悪化を招くおそれがあり、健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。持病の治療や健診などは、皆さんの健康維持のために必要な受診です。

感染予防対策を十分に行った上で、必要な受診をして心身の健康を保ちましょう。

持病の治療やリハビリは続けることが大切です

発熱や咳、腹痛などの症状は、新型コロナウイルス感染症に限りません。それ以外の病気の可能性もあるため、必要な受診を控えると、最適な治療が受けられなくなる可能性があります。

また、定期的に飲んでいる薬を切らすと、持病が悪化してしまうおそれがあります。持病がある方は、定期的に受診をしましょう。

リハビリも可能な範囲で継続することが大切です。



健診や予防接種は予定どおり受けましょう

生活習慣病やがんの早期発見には、定期的な健診と適切な受診が重要です。かかりつけ医に早めに相談し、健診は予定どおり受けましょう。

また、乳幼児の予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。



医療機関に行くときは、感染予防対策をしましょう

受診の前に体温測定をするなど、体調に問題がないことを確認してください。マスクの着用を忘れずに。

帰宅後は、手洗いなどの感染対策をしっかりと行いましょう。

【マスクの着用】



【手洗い】



健康に不安があるときは、まずはかかりつけ医に相談を！

自己判断で受診を控えることで、症状が悪化し、ウイルスに対抗できない状態になることがあります。かかりつけ医に相談しながら健康管理していくことがとても重要です。心配な場合は、まずかかりつけ医に相談しましょう。

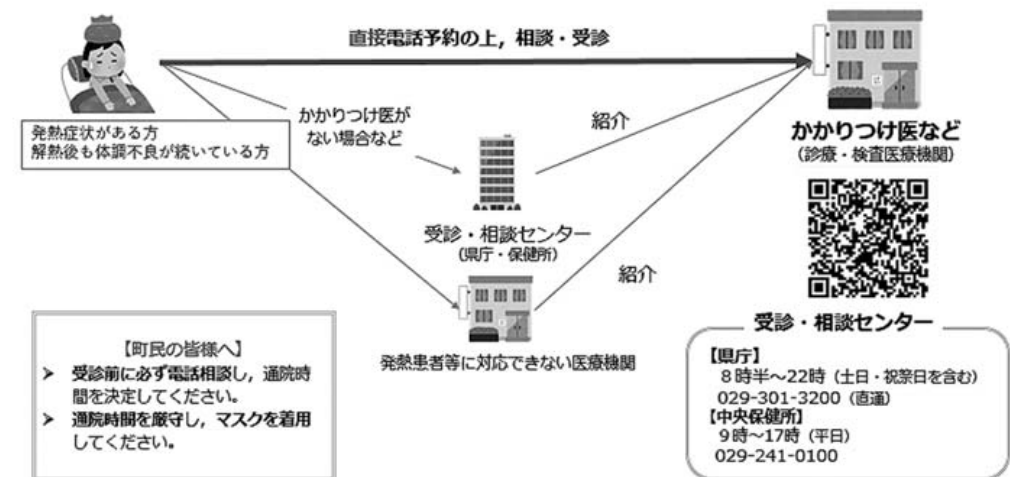


発熱などで受診したい…まずはかかりつけ医に電話相談を！

気温が低く、空気が乾燥する冬は、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルスなど）、溶連菌感染症など、さまざまな感染症が流行しやすい季節です。また、新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大も心配されます。

発熱などの症状があるときは、**受診をする前に、まずはかかりつけ医など地域の身近な医療機関に電話で相談**しましょう。

受診までの流れ



※ 茨城県資料参考

引き続き感染症対策を！

新型コロナウイルス感染症対策は、風邪や季節性インフルエンザなどの対策にも効果的です。咳エチケット（咳やくしゃみをする際、ティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること）やマスクの着用など、引き続き感染症対策を実施しましょう。

【咳エチケット】



【マスクの着用】



【手洗い】



急な病気やケガなどの場合に判断に迷ったら…

インターネットによる救急相談

・全国版救急受診アプリ「Q助」

症状を選択していくと、緊急度や対応が表示されます。

ホームページ…<https://www.fdma.go.jp>

・こどもの救急(生後1か月～6歳児)

休日や夜間の診療時間外に、医療機関を受診するかの判断の目安を提供しています。

ホームページ…<https://kodomo-qq.jp>



電話による救急相談・医療機関案内

急な病気やケガなどの相談や受診可能な医療機関の案内を、看護師が24時間体制で行っています(歯科を除く)。

茨城子ども救急電話相談(14歳以下)
#8000 ☎050-5445-2856

茨城おとな救急電話相談(15歳以上)
#7119 ☎050-5445-2856

【問合せ先】健康増進課 ☎ 029-240-7134 (直通)